

Ⅲ 学校研究

（〇）令和7年度を振り返って

●子どもたちの変容

成果（どんな力を持っているか）	課題（たりない力は何か）
・1年生も、最後まではなしをきくことができるようになった。 ・高学年は、「おせっかい」ではない学び合い…相手の思考に寄り添ったり、相手の思いを引き出そうとする言葉がけができたりする子が出てきた。 ・「わからない」を言える。 ・「わからない」は悪いことではない。大事なことだと思える。 ・自分にとって難しいなと感じることで、友だちと一緒に考えればできる。 ・友達と一緒にあれこれいって考えるのが楽しい。 ・考えることはおもしろい。難しい問題を解くのも楽しい。	・何も考えない「わからない」、何も考えない「教えて」 ・「わからない」の言語化、具体化 →「どこまでがわかって、どこがわからない」のか言葉で表現する。 ・「わからない」がわからない子。言えない子。 ・相手の「わからなさ」によりそって、こたえる。相手の「わからなさ」をきく、考える。 ・言葉だけでなく、図表を用いた説明。 ・この説明でダメなら、この説明で…というねばり強い説明（教える側の学びにつながる） ・ただ「きく」はできる。きいたことをもとにブラッシュアップすること。 ・一人でもできる。家庭学習につなげる。

○令和8年度は…

「きく」「わからないを大切に」の継続

柱2 教材を見極める

- ・ジャンプの課題
- ・足場かけの共有の課題
- ・カリマネ
- ・色々な教科で

柱1 子どもを見極める

- ・子どものはなしをきく、思考をみとる。

柱3 授業を見極める

- ・どうつなぐ？
- ・わからなさすぎる子への手立ては？？
- ・一人まなびにどうिकास？

(1) 研究主題について

★浜田小学校の教育理念★

じりつ（自立・自律）と 公益・貢献

★浜田小学校の教育目標★

自ら考え、自らの力で生きる子どもを育てる

★浜田小学校めざす子ども像★

◆生活や地域から学びを創り、それを生活や地域に活かし貢献する子ども

◆まっすぐな心で他者と対話（他者意識）、自分を高められる（自尊感情、学力・生活力）子ども

◆自分（の生活）を見つめ、自己管理（自己育成）できるたくましい子ども

何が起こるかわからない様々な社会変化をのりこえて、自分らしくよりよく生きるためには、他者とのかわり合いは不可欠です。まず、相手の思いを「きく」こと、そして、自分の思いを「話す（わからない、困っている、これはどう？、わたしはこう思う…）」ことができる子どもたちを育てていきたいです。

授業を通して、相手の考えや思いに耳を傾け、疑問に思ったこと・わからないこと・わかったことも素直に表現し、まわりとつながりながらうんと考え、「わからない」を解決したり、よりよいものをつくっていったりする子どもたちになってほしいと思います。「きく」こと、「わからない」を大切にすることで、子どもたちが楽しく、一生懸命に学び合う授業をいっしょにつくっていきましょう。

そこで、今年度の研究主題も引き続き、

★R8 年度 学校研究主題★

まず「きく」そして「話す」
～「わからない」を大切に作る教室へ～

としたいと思います。（このテーマは今年度で3年目になります）

(2) 窓口となる教科について

全教科・全領域で、課題の工夫（共有の課題・ジャンプの課題）による学び合いの充実を図っていきましょう。「わからない」を大切に、「きく」こと、「きき合いながら学び合う」ことを意識していきましょう。

これまでの学校研究の積み上げにより、算数ではたくさんの授業提案がされてきました。一方、他の教科ではどんな「ジャンプの課題」を考えられるかが課題となっています。ぜひ、様々な教科で授業を提案してほしいと思います。

(3) 研究成果や課題の記録について

①年度始めに「授業研 plus」を行い、全職員が各クラスの実態を把握する。

- ・子どもの授業で学ぶすがたを見つめ、課題を把握する。
- ・めざすすがたのために、どんな手立てをとるかを具体的に考える。
- ・授業後に、A 4 1 枚に課題・目指すすがた・手立てをまとめる。

②年度後半の授業研で、クラスの変容を見て学ぶ。

- ・半年後の子どもの学びのすがたがどう変容したかを授業研で語り合う。(成果や課題)
- ・授業研 plus の課題に対して手立ては有効だったかどうかを検討する。
- ・学年末まで、残された課題に対して、各担任が手立てを工夫しながら実践を続けていく。

③授業エピソードの共有化

- ・日々の実践の学び合いのすがたで見つけたエピソード、ジャンプの課題を共有しましょう。
⇒ 放課後あちこちで語り合うこと大歓迎です！ 自由にエピソードを書いてみなさんにお配りするのでもいいですね！

(4) 授業研究会予定(案)

※全ての授業を全職員が見てください。

	日 付	授業提供	備 考
授業研 Plus①	5 月 1 5 日 (金)	2 年・5 年	
授業研 Plus②	5 月 2 8 日 (木)	3 年・6 年	
授業研 Plus③	6 月 1 8 日 (木)	1 年	山大・森田智幸先生来校
校内授業研究会①	1 0 月 2 9 日 (木)		山大・森田智幸先生来校
六中学区小中一貫教育 合同研修会	1 1 月 2 6 日 (木)	低中高よつばから 1 学級ずつ	山大・森田智幸先生来校
校内授業研究会②	1 2 月 1 6 日 (水)		市教委要請訪問申請中
校内授業研究会③	1 月 2 0 日 (水)	よつば	市教委要請訪問申請中
校内授業研究会④	2 月 2 日 (火)		山大・森田智幸先生来校

学びにおける「きく」ってなんだろう？

自分のために『きく』

知りたいから『きく』
分かりたいから『きく』

「なぜだろう？」「もっと調べたい」
「もっと考えたい」「もっと探したい」

困っていて『きく』

「どうすればいいの？」「やり方を知りたい」
「分からなくなった」

できるようになりたいから『きく』

「もっとやってみたい」「もっと上手になりたい」

自分も周りも高めるために『きく』

「もっとつながりたい」「コミュニケーションを取りたい」
「もっと相手と仲良くなりたい」

他の人のために『きく』

相手が心配だから『きく』

「〇〇さんは、分かっているかな？」
「今の説明で伝わったかな？」

一緒にやりたいから『きく』

「みんなのできるようになりたい」

相手に興味があるから『きく』

「〇〇さんは、どう考えているんだろう？」
「〇〇さんの考えは、どうして自分と違うんだろう？」

『きく』

研究構想図

授業改善の3つ柱と視点

柱 2

教材を見極める

子ども達につけたい力、授業のねらい、教科の特性を明確にし、学びの質を向上させていく。

柱 1

子どもを見極める

子どもの表情、つぶやき、動作などから、何を考えているのかを理解し見取っていく。

柱 3

授業を見極める

授業の中で、子ども達の発言の内容から次の方向性を瞬時に判断し、分岐点を探し出す。

視点 1 ジャンプの課題

視点 2 学び合いの充実

授業研究会

デジカメを一人1台持って、次の点に留意して授業を参観して写真を撮ります。



㊦ 児童が夢中になって考えている姿を紹介しましょう “マイベストショット”

エピソードとして語れるように！ * 授業のどの場面だったか…
* どんな内容を考えていたのか…
* 前後の流れは…

㊦ 児童が困っていた姿を紹介しましょう “可能性を感じた場面”

つながれ
ない

考えることをやめてしまった

何を考えればよいのかが、そもそもわ
かっていなかったようだ…

エピソードとして語れるように！ * 授業のどの場面だったか…
* どんな表情をしていたか…
* 前後の流れは…

研究協議 各グループにパソコンを用意。写真を見ながら、その姿が、なぜ生まれたのかを振り返り
ましょう。

【紹介の仕方:㊦について】

授業者や子どもが発揮した良さに注目して！

* 何が良かったのか…

「もどし」が絶

困っている子のつ
なぎ方がよかった

簡単に「わかった」
と言わなかった。

〇〇君は、ずっと〇〇
さんを気にかけていた

何度もテキストに立ち戻りた
くなる魅力的な課題だっ

【紹介の仕方:㊦について】

子どもの姿から自分事として学ぶ！

* どんな手立てが必要だったのか…

足場かけが不十分だっ
たか？具体物使ったら？

教師が「見守る」我
慢強さって大事！

「つないでほし
い」サインが出て

こちらのグループでは、〇〇君が●●●したおかげ
で、同じことが起きなかった。このよさを広げたい！

授業者から学ぶべき点を確認合いましょう。

自分の授業に活かしたい点は！

* ぜひ、取り入れてみたい…

* こんな方向で努力してみたい…

* なかなかできていないが…